PRESS RELEASE

2018 年 3 月 15 日

株式会社エアロネクスト

【次世代ドローン】エアロネクスト、新技術「4D Gravity™」を搭載した、360°VR 撮影ドローンと宅配専用ドローンを同時発表

産業用途の可能性を飛躍的に引き上げるドローンの新しい機体フレームを提案

株式会社エアロネクスト（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：田路圭輔、以下「エアロネクスト」）は、2018 年 3 月 22 日より 24 日まで開催される「ジャパン・ドローン 2018｜第 3 回」（主催：一般社団法人日本 UAS 産業振興協議会（JUIDA）、会場：幕張メッセ）にて、新技術「4D Gravity™」を搭載した、カメラがブレない 360°VR 撮影ドローンと荷物を傾けずに運べる宅配専用ドローンの 2 種類の新型ドローンを同時発表します。

新技術「4D Gravity™」は、飛行中のドローンの重心を最適化する技術で、これを搭載するドローンは、燃費、速度、信頼性などといった基本性能の向上が期待できます。さらに、用途に合わせて重心を制御することにより、新たな分野への活用が可能になります。今回の出展では、「4D Gravity™」の産業用途ドローンへの応用例として、360°VR 撮影用の「Next VR™」と宅配専用の「Next DELIVERY™」の 2 種類の機体を公開します。

現在、ドローン市場においては、映像空撮の他、トンネルや橋梁、太陽光パネルなどの各種インフラ施設の検査や点検、農薬散布等への利用が始まっており、ドローンを利用した宅配サービスなど、あらゆる産業用途で実証実験が進んでいます。そうした市場を活性化し、ドローンの産業利用をさらに促進するために、エアロネクストは、新技術「4D Gravity™」を搭載した 2 種類の次世代ドローンを開発しました。

エアロネクストは、今回発表する VR 撮影用と宅配用以外にも、検査、点検用途など、「4D Gravity™」を搭載する新型の産業用ドローンの研究開発を続けています。今後は、パートナー企業との連携を深め、「4D Gravity™」搭載機の普及を推進することにより、産業領域におけるドローンの活用領域を拡大し、より安全、安心なドローン前提社会づくりに貢献していきます。

「Next VR™」で高画質 360°VR 撮影を可能

Next VR™ (4D Gravity™搭載)

「Next VR™」は、小型で 高品質な 360°VR 映像の撮影を可能にする次世代の VR 撮影用ドローンです。機体中央部を垂直に貫通する縦棒は、「4D Gravity™」によって飛行中においても常に垂直を保持します。縦棒両端に設置された 2 つのカメラは、ブレずに安定した高画質 360°VR 映像を映し出します。

（参考動画）
https://youtu.be/9flPVFeeyJs

「Next DELIVERY™」で荷物の水平輸送が可能に

Next DELIVERY™ (4D Gravity™搭載)

「Next DELIVERY™」は荷物を傾けない水平輸送を可能にする宅配専用ドローンです。輸送中の荷物の偏りが解消されるため、従来のドローンでは難しいとされる、医療や精密機器の輸送、食事のデリバリーが可能となります。

（参考動画）
https://youtu.be/jDXxPoAHHtE

より安全に、より遠くへ、より早く、より安く

「4D Gravity™」を搭載したドローンはモーター負荷の均一化により信頼性が向上。プロペラを従来ドローンより急角度に設定できることで最高速アップも実現。結果として、「より安全に、より遠くへ、より早く、より安く」フライトできるようになります。

■　**株式会社エアロネクストについて**

UAV（無人航空機）やマルチコプターの機体フレームのあるべき姿を実現する、ドローン・アーキテクチャ研究所です。エアロネクストが実現を目指すドローン・アーキテクチャの中心テーマを「姿勢制御」とし、重心制御技術「4D Gravity™」に強みを持つ機体開発を行っています。

エアロネクストおよびエアロネクストのロゴおよび、「4D Gravity™」「Next VR™」「Next DELIVERY™」は、
株式会社エアロネクストの商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

報道関係者からのお問い合わせ先
株式会社エアロネクスト　担当：広瀬
東京都渋谷区恵比寿西二丁目 3 番 5 号 石井ビル 6F
TEL：03-4400-6482　Email：hirose@aeronext.blue